

# インド債券ファンド (毎月分配型)

【運用報告書(全体版)】

第17作成期 (2020年5月27日から2020年11月26日まで)

第 **97** 期 / 第 **98** 期 / 第 **99** 期  
決算日2020年6月26日 決算日2020年7月27日 決算日2020年8月26日

第 **100** 期 / 第 **101** 期 / 第 **102** 期  
決算日2020年9月28日 決算日2020年10月26日 決算日2020年11月26日

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2012年5月31日から2022年5月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 K インディア・インカム・ファンド 主に米ドル建てのインドの債券等 コタック・フレキシ・デット・ファンド (クラスA) 主にインドルピー建てのインドの債券等
当ファンドの運用方法	■主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つ「コタック・マヒンドラ」グループが行います。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 証券組入 比率	純資産額
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
第13 作成期		円	円	%	%	百万円
	73期(2018年6月26日)	5,789	100	0.4	95.7	92,436
	74期(2018年7月26日)	5,753	100	1.1	94.9	90,305
	75期(2018年8月27日)	5,579	100	△1.3	95.9	86,468
	76期(2018年9月26日)	5,318	100	△2.9	97.1	80,554
	77期(2018年10月26日)	5,225	70	△0.4	96.0	77,946
第14 作成期	78期(2018年11月26日)	5,333	70	3.4	96.4	76,845
	79期(2018年12月26日)	5,338	70	1.4	97.1	75,121
	80期(2019年1月28日)	5,170	70	△1.8	94.7	71,438
	81期(2019年2月26日)	5,169	70	1.3	96.4	70,524
	82期(2019年3月26日)	5,295	70	3.8	96.9	71,354
	83期(2019年4月26日)	5,251	70	0.5	95.9	70,598
第15 作成期	84期(2019年5月27日)	5,173	70	△0.2	93.3	69,524
	85期(2019年6月26日)	5,073	70	△0.6	94.9	68,018
	86期(2019年7月26日)	5,131	70	2.5	96.5	68,537
	87期(2019年8月26日)	4,841	70	△4.3	96.1	64,500
	88期(2019年9月26日)	4,860	70	1.8	96.5	64,165
	89期(2019年10月28日)	4,915	40	2.0	94.2	64,648
第16 作成期	90期(2019年11月26日)	4,863	40	△0.2	97.0	60,800
	91期(2019年12月26日)	4,884	40	1.3	96.8	58,529
	92期(2020年1月27日)	4,895	40	1.0	96.2	57,206
	93期(2020年2月26日)	4,962	40	2.2	96.5	55,906
	94期(2020年3月26日)	4,190	40	△14.8	94.5	45,516
	95期(2020年4月27日)	4,261	40	2.6	91.7	45,635
第17 作成期	96期(2020年5月26日)	4,365	40	3.4	96.8	46,325
	97期(2020年6月26日)	4,420	40	2.2	97.0	45,699
	98期(2020年7月27日)	4,451	40	1.6	96.3	44,891
	99期(2020年8月26日)	4,452	40	0.9	96.4	44,020
	100期(2020年9月28日)	4,432	40	0.4	96.3	42,797
	101期(2020年10月26日)	4,419	40	0.6	95.5	41,686
	102期(2020年11月26日)	4,436	40	1.3	96.5	39,775

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

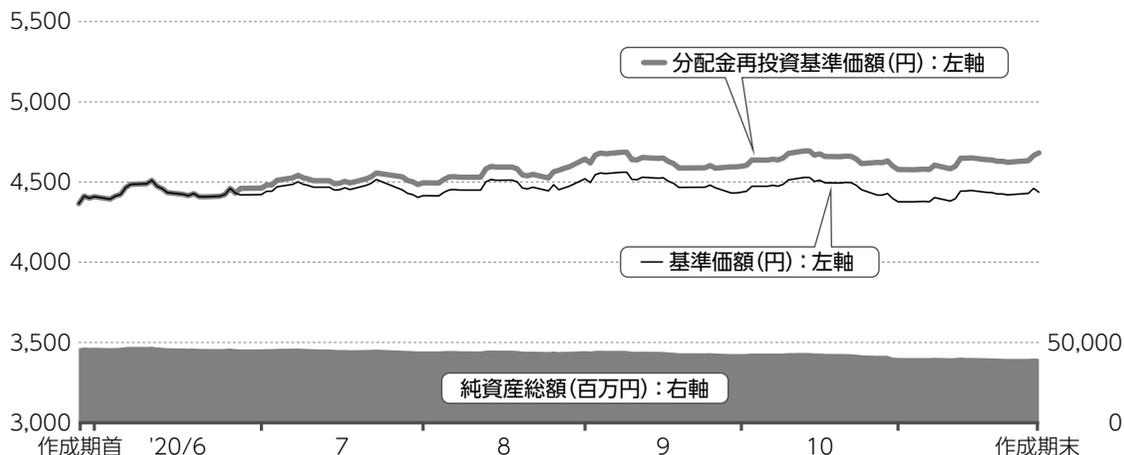
決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	
第97期	(期 首) 2020年5月26日	円 4,365	% —	% 96.8
	5月末	4,409	1.0	96.9
	(期 末) 2020年6月26日	4,460	2.2	97.0
第98期	(期 首) 2020年6月26日	4,420	—	97.0
	6月末	4,422	0.0	97.0
	(期 末) 2020年7月27日	4,491	1.6	96.3
第99期	(期 首) 2020年7月27日	4,451	—	96.3
	7月末	4,415	△0.8	96.3
	(期 末) 2020年8月26日	4,492	0.9	96.4
第100期	(期 首) 2020年8月26日	4,452	—	96.4
	8月末	4,520	1.5	96.6
	(期 末) 2020年9月28日	4,472	0.4	96.3
第101期	(期 首) 2020年9月28日	4,432	—	96.3
	9月末	4,436	0.1	96.4
	(期 末) 2020年10月26日	4,459	0.6	95.5
第102期	(期 首) 2020年10月26日	4,419	—	95.5
	10月末	4,377	△1.0	96.0
	(期 末) 2020年11月26日	4,476	1.3	96.5

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2020年5月27日から2020年11月26日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	4,365円
作成期末	4,676円 (当作成期分配金240円(税引前)込み)
騰落率	+7.3% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### 基準価額の主な変動要因（2020年5月27日から2020年11月26日まで）

投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資しました。外貨建資産については、米ドル建ての債券に投資を行った場合は実質的にインドルピー建てとなるよう為替取引を行いました。対円での為替ヘッジは行いませんでした。

### 上昇要因

- 新型コロナウイルスの新規感染者数の増加が落ち着いてきたことやRBI（インド準備銀行）の政策対応期待などを背景に投資家のリスク選好の動きが強まったこと
- 4－6月期のGDP（国内総生産）の回復傾向が8月に発表され、好感されたこと

### 組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	作成期末組入比率
K インディア・インカム・ファンド	外国債券	68.6%
コタック・フレキシー・デット・ファンド(クラスA)	外国債券	27.9%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### 投資環境について（2020年5月27日から2020年11月26日まで）

インド5年国債利回りはやや上昇（価格は下落）しました。米国5年国債利回りも上昇しましたが、スプレッド（米国国債に対する上乘せ金利）が縮小したため、米ドル建てインド債券市場は上昇しました。為替市場では、インドルピーは円に対して横ばいでした。

#### 債券市場

インドルピー建て債券市場は、作成期初から8月中旬にかけて横ばいで推移した後、8月下旬に大幅に金利が上昇する局面がありました。その後は、作成期末にかけて低下傾向となり、作成期を通してみれば、金利はやや上昇しました。RBIが8月の金融政策決定会合で、市場の利下げ期待に反して政策金利を据え置いたことや、インフレ率の上昇で利下げ期待が遠のいたことなどが利回り上昇の要因となりました。しかし、9月初めにRBIが金融機関の債券保有規制の一部緩和など債券市場支援策を発表したことを受けて、利回りは急低下しました。その後は、食料品価格の高騰などでインフレ率が下がらないことが懸念材料となったものの、新型コロナウイルスの感染拡大ペースが鈍化していることや、RBIによる債券市場支援策への期待感などが債券価格を下支えしました。感染拡大の落ち着きは、経済活動再開の点では利回り上昇要因にもなりえますが、それよりも海外投資家によるインド投資への安心感につながりました。インドルピー建て債券利回りはやや上昇しましたが、利金収入を主因に、トータル

リターンはプラスとなりました。

米ドル建てインド債券市場は、主要中央銀行が市場を下支えする十分な金融政策を行っていることが好感され、投資家のリスク回避姿勢が後退したことから当作成期の前半にかけて、スプレッドは大きく縮小（一般に債券価格の上昇要因）し、その後も概ね横ばいで推移しました。米国金利はFRB（米連邦準備制度理事会）による金融緩和政策の継続などを背景に、低位で推移し、作成期を通してみれば小幅に上昇しました。その結果、米ドル建てインド債券市場はスプレッドの縮小が寄与し、上昇しました。

当作成期の市場の動きをJPモルガン・GBI-EMインド（現地通貨ベース）インデックスで見ると4.0%上昇しました。JPモルガン・CEMBI Broadインド（米ドルベース）インデックスは、11.1%上昇しました。

#### 為替市場

インドルピーは対円で、作成期を通してみれば、横ばいでした。前作成期は新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）で2月下旬から3月上旬にかけてインドルピーは

## インド債券ファンド（毎月分配型）

対円で大きく下落しましたが、当作成期は主要国の協調的な緊急経済支援策や経済活動の再開期待などもあり、インドルピーは対円で比較的狭い範囲で動き、方向感に欠ける展開

でした。

当作成期のインドルピー・円は、作成期首1円43銭から作成期末1円43銭と横ばいでした。

### ポートフォリオについて（2020年5月27日から2020年11月26日まで）

#### 当ファンド

「Kインディア・インカム・ファンド」および「コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）」を高位に組み入れることにより、運用を行いました。

#### Kインディア・インカム・ファンド

主に米ドル建てのインド社債に投資しました。また、実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行いました。作成期を通じて、満期までの期間が4年から5年までの債券を多めに保有しました。

#### コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）

主にインドルピー建てのインド債券に投資しました。作成期の前半はポートフォリオの平均デュレーション（投資資金の平均回収期間）を4年程度としました。作成期の後半にかけてデュレーションをやや長期化し、足元は7年程度としています。食料品を中心としたインフレの高止まりは徐々に落ち着くとみていることや、RBIによる長期債の購入が期待できるためです。国債、国営企業債、社債を中心にポートフォリオを構築しました。

### ベンチマークとの差異について（2020年5月27日から2020年11月26日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### 分配金について（2020年5月27日から2020年11月26日まで）

当作成期の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ40円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	(0.897%)	(0.891%)	(0.890%)	(0.894%)	(0.897%)	(0.894%)
当期の収益	40	40	38	38	39	40
当期の収益以外	-	-	1	2	1	-
翌期繰越分配対象額	577	577	576	574	573	574

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド」および「コタック・フレキシシー・デット・ファンド（クラスA）」の高位組入れを通じて、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。

### K インディア・インカム・ファンド

米ドル建てのインド社債については、グローバルな景気回復のタイミングには注意する必要があるものの、経済活動は徐々に回復

に向かいつつあることはポジティブに捉えています。今後は、業績回復が期待しづらい企業が一部でみられる一方で、新型コロナウイルス禍の下でも順調に業績を伸ばす企業や、新たに操業する企業が出現するなど、市場全体の回復傾向の中で、変化が起きていくと考えています。

ただし、感染拡大については今後も不透明な状況が続くことから、市場の変動が大きくなる場合に備えて、引き続き信用力の高い銘柄を中心に投資をしていきます。

### コタック・フレクシー・デット・ファンド （クラスA）

インドでの新規感染者数は、8月をピークに足元では徐々に減少傾向が続いています。食品価格の上昇などでインフレ率が高止まりしており、利下げはやや期待しづらい環境ですが、RBIは企業の資金繰り支援に加えて長期債の購入を継続するなど様々な金融支援策を実施してきました。今後も政策を総動員

して経済を下支えする意向をみせていることから、RBIは引き続きハト派（景気を重視する立場）的な政策姿勢を維持するものと考えられ、そのことはインド債券市場にとってはポジティブに働くものと考えます。中長期的には、インフレ率の正常化と利下げにより、長期債の魅力度がより認識されてくると判断しています。デュレーションは現在の水準を継続する方針です。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 1万口当たりの費用明細（2020年5月27日から2020年11月26日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	25円	0.555%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数）
（投信会社）	(7)	(0.150)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(17)	(0.388)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.017)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	25	0.557	

期中の平均基準価額は4,429円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

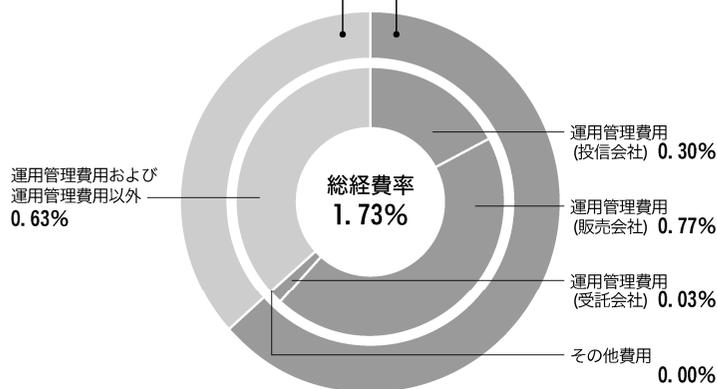
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「包括利益計算書」をご覧ください。

### 参考情報 総経費率（年率換算）

#### ■ 2 投資先ファンドの費用 0.63%    ■ 1 当ファンドの費用 1.10%



総経費率 (■ + ■)	1.73%
■ 当ファンドの費用の比率	1.10%
■ 投資先ファンドの費用の比率	0.63%

## インド債券ファンド（毎月分配型）

- ※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※**2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は1.73%です。

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2020年5月27日から2020年11月26日まで）

#### 投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
		口	千円	口	千円
国内	Kインディア・インカム・ファンド	208,160	325,000	3,248,069	5,060,000
	コタック・フレキシリー・デット・ファンド（クラスA）	9,248	124,000	196,490	2,702,000
合 計		217,408	449,000	3,444,559	7,762,000

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 利害関係人との取引状況等（2020年5月27日から2020年11月26日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2020年5月27日から2020年11月26日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 組入れ資産の明細 (2020年11月26日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作成期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
	口	口	千円	%
Kインディア・インカム・ファンド	20,810,557	17,770,648	27,295,403	68.6
コタック・フレキシィ・デット・ファンド（クラスA）	983,614	796,372	11,085,996	27.9
合計	21,794,172	18,567,021	38,381,399	96.5

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 投資信託財産の構成

(2020年11月26日現在)

項目	作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	38,381,399	94.9
コール・ローン等、その他	2,083,684	5.1
投資信託財産総額	40,465,083	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年6月26日) (2020年7月27日) (2020年8月26日) (2020年9月28日) (2020年10月26日) (2020年11月26日)

項目	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末
(A) 資産	46,533,766,274円	45,659,683,532円	44,689,334,527円	43,460,233,084円	42,573,126,653円	40,465,083,579円
コール・ローン等	2,191,151,128	2,184,282,117	2,261,593,018	2,227,732,111	2,230,986,940	2,083,684,302
投資証券(評価額)	44,342,615,146	43,215,401,415	42,427,741,509	41,232,500,973	39,830,139,713	38,381,399,277
未収入金	-	260,000,000	-	-	512,000,000	-
(B) 負債	834,387,574	767,782,449	668,721,420	663,079,317	886,707,088	689,289,953
未払収益分配金	413,551,769	403,458,514	395,477,691	386,297,218	377,320,619	358,641,320
未払解約金	377,196,035	321,507,619	232,756,193	232,827,936	473,016,803	292,808,600
未払信託報酬	43,480,469	42,673,431	40,310,068	43,786,033	36,226,360	37,697,396
未払利息	6,003	5,385	6,505	6,408	5,806	5,137
その他未払費用	153,298	137,500	170,963	161,722	137,500	137,500
(C) 純資産総額(A-B)	45,699,378,700	44,891,901,083	44,020,613,107	42,797,153,767	41,686,419,565	39,775,793,626
元本	103,387,942,257	100,864,628,611	98,869,422,946	96,574,304,691	94,330,154,793	89,660,330,146
次期繰越損益金	△5,678,563,557	△5,972,727,528	△54,848,809,839	△53,777,150,924	△52,643,735,228	△49,884,536,520
(D) 受益権総口数	103,387,942,257口	100,864,628,611口	98,869,422,946口	96,574,304,691口	94,330,154,793口	89,660,330,146口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,420円	4,451円	4,452円	4,432円	4,419円	4,436円

※当作成期における作成期首元本額106,123,901,902円、作成期中追加設定元本額1,809,570,821円、作成期中一部解約元本額18,273,142,577円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 損益の状況

(自2020年5月27日 至2020年6月26日) (自2020年6月27日 至2020年7月27日) (自2020年7月28日 至2020年8月26日) (自2020年8月27日 至2020年9月26日) (自2020年9月29日 至2020年10月26日) (自2020年10月27日 至2020年11月26日)

項 目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
(A) 配 当 等 取 益	438,167,329円	433,347,937円	420,668,447円	413,313,927円	404,810,992円	389,410,451円
受 取 配 当 金	438,273,982	433,472,973	420,776,891	413,442,734	404,936,232	389,541,043
支 払 利 息	△ 106,653	△ 125,036	△ 108,444	△ 128,807	△ 125,240	△ 130,592
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	586,368,176	320,614,889	31,939,102	△ 185,274,226	△ 107,744,973	160,161,758
売 買 益	604,010,959	330,616,096	194,805,595	176,474,722	130,278,279	169,993,089
売 買 損	△ 17,642,783	△ 10,001,207	△ 162,866,493	△ 361,748,948	△ 238,023,252	△ 9,831,331
(C) 信 託 報 酬 等	△ 43,633,767	△ 42,810,931	△ 40,486,868	△ 43,947,755	△ 36,363,860	△ 37,844,889
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	980,901,738	711,151,895	412,120,681	184,091,946	260,702,159	511,727,320
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△22,673,058,567	△21,509,897,759	△20,727,168,278	△20,163,573,481	△19,814,117,224	△18,880,040,063
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△35,582,854,959	△34,770,523,150	△34,138,284,551	△33,411,372,171	△32,712,999,544	△31,157,582,457
( 配 当 等 相 当 額 )	( 5,923,646,956)	( 5,779,220,723)	( 5,665,131,199)	( 5,533,794,791)	( 5,386,583,704)	( 5,111,074,245)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△41,506,501,915)	(△40,549,743,873)	(△39,803,415,750)	(△38,945,166,962)	(△38,099,583,248)	(△36,268,656,702)
(G) 計 ( D + E + F )	△57,275,011,788	△55,569,269,014	△54,453,332,148	△53,390,853,706	△52,266,414,609	△49,525,895,200
(H) 収 益 分 配 金	△ 413,551,769	△ 403,458,514	△ 395,477,691	△ 386,297,218	△ 377,320,619	△ 358,641,320
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△57,688,563,557	△55,972,727,528	△54,848,809,839	△53,777,150,924	△52,643,735,228	△49,884,536,520
追 加 信 託 差 損 益 金	( 配 当 等 相 当 額 )	( 配 当 等 相 当 額 )	( 配 当 等 相 当 額 )	( 配 当 等 相 当 額 )	( 配 当 等 相 当 額 )	( 配 当 等 相 当 額 )
( 配 当 等 相 当 額 )	( 5,923,646,956)	( 5,779,220,723)	( 5,665,131,199)	( 5,514,479,930)	( 5,377,150,688)	( 5,111,074,245)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△41,506,501,915)	(△40,549,743,873)	(△39,803,415,750)	(△38,945,166,962)	(△38,099,583,248)	(△36,268,656,702)
分 配 準 備 積 立 金	45,393,699	49,451,911	35,906,202	37,341,759	36,924,275	38,946,533
繰 越 損 益 金	△22,151,102,297	△21,251,656,289	△20,746,431,490	△20,383,805,651	△19,958,226,943	△18,765,900,596

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
(a) 費用控除後の配当等収益	419,505,167円	408,740,214円	383,039,952円	369,366,172円	368,447,132円	362,593,563円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	—	—	—	—	—	—
(c) 収益調整金	5,923,646,956	5,779,220,723	5,665,131,199	5,533,794,791	5,386,583,704	5,111,074,245
(d) 分配準備積立金	39,440,301	44,170,211	48,343,941	34,957,944	36,364,746	34,994,290
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	6,382,592,424	6,232,131,148	6,096,515,092	5,938,118,907	5,791,395,582	5,508,662,098
1万口当たり分配可能額	617	617	616	614	613	614
(f) 分配金額	413,551,769	403,458,514	395,477,691	386,297,218	377,320,619	358,641,320
1万口当たり分配金額(税引前)	40	40	40	40	40	40

### ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 組入れ投資信託証券の内容

#### 投資信託証券の概要

ファンド名	Kインディア・インカム・ファンド
形態	ケイマン籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、インドルピー建て以外のインドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。</li> <li>・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券の空売りは行いません。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</li> <li>・非流動性資産への投資は取得時において純資産総額の15%以下とします。</li> </ul>
決算日	年1回決算（原則として、毎年9月30日。休業日の場合は前営業日）
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用報酬	<p>純資産総額に対して年0.64%*</p> <p>*年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
管理およびその他の費用	<p>ファンドの管理、保管、設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えると考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整されることがあります。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「Kインディア・インカム・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 包括利益計算書 (2018年10月1日から2019年9月30日)

(単位：米ドル)

投資収益	
受取利息	13,486,329
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る純利益	20,394,954
デリバティブに係る純利益	6,227,703
	40,108,986
費用	
管理会社手数料	27,365
運用報酬	1,685,662
保管報酬	50,708
専門家報酬	2,209
保険料	3,359
その他費用	9,886
監査報酬	10,500
調整費用	444
為替差損	452,234
取締役報酬	2,500
	2,244,866
	37,864,120
金融費用控除前純投資収益	
金融費用	
償還可能参加型受益証券保有者に支払った分配金	(74,762,868)
償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産の変動	(36,898,748)

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 組入上位30銘柄(2019年9月30日現在)

	銘柄名	通貨	利率	償還日	組入比率
1	NTPC 3.75% 03/04/2024	USD	3.75%	2024/4/3	7.3%
2	Reliance Holding 5.40% 14/02/2022	USD	5.40%	2022/2/14	5.6%
3	Canara Bank 3.25% 10/08/2022	USD	3.25%	2022/8/10	5.5%
4	Bank of Baroda 3.50% 04/04/2022	USD	3.50%	2022/4/4	5.4%
5	Power Finance Corporation 3.75% 18/06/2024	USD	3.75%	2024/6/18	5.3%
6	Canara Bank 3.875% 28/03/2024	USD	3.875%	2024/3/28	3.8%
7	State Bank of India 3.25% 24/01/2022	USD	3.25%	2022/1/24	3.6%
8	ICICI Bank 3.125% 12/08/2020	USD	3.125%	2020/8/12	3.3%
9	Tata Motors 5.75% 30/10/2024	USD	5.75%	2024/10/30	2.7%
10	Rural Electrification Corporation 3.875% 07/07/2027	USD	3.875%	2027/7/7	2.8%
11	Indian Oil Corp 4.75% 16/01/2024	USD	4.75%	2024/1/16	2.7%
12	Axis Bank 3.25% 21/05/2020	USD	3.25%	2020/5/21	2.5%
13	Power Grid Corporation 3.875% 17/01/2023	USD	3.875%	2023/1/17	2.3%
14	Indusind Bank 3.875% 15/04/2022	USD	3.875%	2022/4/15	2.1%
15	NTPC 4.375% 26/11/2024	USD	4.375%	2024/11/26	2.1%
16	Rural Electrification Corporation 3.375% 25/07/2024	USD	3.375%	2024/7/25	2.1%
17	ECL Finance Ltd 9.05% 28/12/2019	INR	9.05%	2019/12/28	1.9%
18	EXIM Bank 3.875% 12/03/2024	USD	3.875%	2024/3/12	2.0%
19	OIL INDIA 5.375% 17/04/2024	USD	5.375%	2024/4/17	1.9%
20	Bharat Petroleum Corporation 4.375% 24/01/2022	USD	4.375%	2022/1/24	1.9%
21	Motherson Sumi 4.875% 16/12/2021	USD	4.875%	2021/12/16	1.8%
22	Indian Oil Corp 5.75% 01/08/2023	USD	5.75%	2023/8/1	1.8%
23	Adani Ports and Special 3.375% 24/07/2024	USD	3.375%	2024/7/24	1.8%
24	Rural Electrification Corporation 5.25% 13/11/2023	USD	5.25%	2023/11/13	1.7%
25	IDBI Bank 4.25 % 30/11/2020	USD	4.25%	2020/11/30	1.6%
26	India Bulls Housing Finance Ltd 8.567% 15/10/2019	INR	8.567%	2019/10/15	1.4%
27	Shriram Transport Finance 5.70% 27/02/2022	USD	5.70%	2022/2/27	1.5%
28	TML Holdings 5.75% 07/05/2021	USD	5.75%	2021/5/7	1.4%
29	Bank of Baroda 3.875% 04/04/2024	USD	3.875%	2024/4/4	1.4%
30	Rural Electrification Corporation 4.625% 22/03/2028	USD	4.625%	2028/3/22	1.4%

※コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）からデータ提供を受けて作成しています。

※比率はポートフォリオに対する割合

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### 投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・フレキシシー・デット・ファンド（クラスA）
形態	モーリシャス籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。</li> <li>・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券の空売りは行いません。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</li> <li>・非流動性資産への投資は取得時において純資産総額の15%以下とします。</li> </ul>
決算日	年1回決算（原則として、毎年3月31日。休業日の場合は前営業日） ただし、決算日は変更される場合があります。
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用報酬	純資産総額に対して年0.64%* *年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。
管理およびその他の費用	<p>ファンドの管理、保管、設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「コタック・フレキシシー・デット・ファンド（クラスA）」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 包括利益計算書 (2019年4月1日から2020年3月31日)

(単位：米ドル)

#### 投資収益

損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる純損失	(6,485,263)
為替にかかる純未実現損失	(141,129)
利息収入	14,449,843
	7,823,451

#### 費用

投資運用報酬及び保管報酬	1,574,467
その他の営業費用	19,701
管理事務代行報酬	30,000
監査報酬	12,000
専門家報酬	22,079
営業費用合計	1,658,247

金融費用控除前営業利益（損失）	6,165,204
税引前利益	6,165,204
所得税費用	(2,024,075)
償還可能参加型持分保有者に帰属する純資産の増加額	4,141,129

## インド債券ファンド（毎月分配型）

### ■ 組入銘柄

（基準日：2020年3月31日）

	銘柄名	通貨	利率(%)	償還日	比率(%)
1	7.57% GOI 17/06/2033	I N R	7.57	2033/06/17	15.34
2	7.60% Bajaj Finance Limited 11/02/2030	I N R	7.60	2030/02/11	11.66
3	9.25% Power Finance Corporation Limited (Series 184 A) 25/09/2024	I N R	9.25	2024/09/25	9.48
4	8.45% Sikka Ports & Terminal Limited 12/06/2023	I N R	8.45	2023/06/12	8.67
5	7.18% Canara Bank (SR I) 11/03/2030	I N R	7.18	2030/03/11	8.34
6	7.82% Jammu Udhampur Highway SP 31/12/2022	I N R	7.82	2022/12/31	6.27
7	7.82% Jammu Udhampur Highway SP 30/06/2022	I N R	7.82	2022/06/30	6.19
8	8.97% UP Power Corporation Limited ( SERIES III - D) 15/02/2024	I N R	8.97	2024/02/15	6.19
9	9.00% Muthoot Finance Limited (Series VI) 19/04/2023	I N R	9.00	2023/04/19	4.21
10	8.97% UP Power Corporation Limited ( SERIES III - C) 15/02/2023	I N R	8.97	2023/02/15	4.21
11	9.75% U.P. Power Corporation Limited (Sub Series F) 18/10/2024	I N R	9.75	2024/10/18	3.64
12	7.50% Rural Electrification Corporation Limited (SR 192) 28/02/2030	I N R	7.50	2030/02/28	3.62
13	7.98% National Highway Authority of India 23/12/2049	I N R	7.98	2049/12/23	3.08
14	9.75% U.P. Power Corporation Limited (Sub Series E) 20/10/2023	I N R	9.75	2023/10/20	2.79
15	9.25% JM Financial Credit Solutions Ltd (TR 1 Option 1) 07/08/2021	I N R	9.25	2021/08/07	0.82
16	9.00% Shriram Transport Finance Co. Ltd (option 1) 28/03/2028	I N R	9.00	2028/03/28	0.77
17	9.75% U.P. Power Corporation Limited (Sub Series G) 20/10/2025	I N R	9.75	2025/10/20	0.49
18	8.30% Indian Railway finance corporation Limited (Series 134) 25/03/2029	I N R	8.30	2029/03/25	0.45
19	8.30% NTPC LIMITED (Series-67) 15/01/2029	I N R	8.30	2029/01/15	0.44

※比率は純資産総額に対する割合

※上記はコタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）からデータの提供を受けて三井住友D Sアセットマネジメントが作成